

秘
農林水産省

--	--	--	--

指定統計第54号
海面漁業生産統計

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

この調査は、農林水産省が今後の水産行政を遂行していくための基礎的な資料を作成するために行うものです。なお、この調査票に記入した調査事項は、統計以外の目的には使用しません。

海面漁業生産統計調査
海面漁業漁獲統計調査
海面漁業漁獲統計調査票（一括調査用）

調査年	調査期間	大海区	都府県支庁	市	町	村
: : : :	: :					

漁業種類

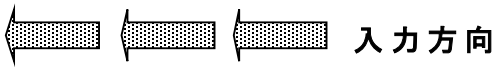
(: 枚目のうち : 枚)

項目		規模			
漁労体数(統)	前年同期値				
	本年値	: : : :	: : : :	: : : :	: : : :
1漁労体当たり 平均出漁日数(日)	前年同期値				
	本年値	: : : :	: : : :	: : : :	: : : :
1漁労体1日当たり 平均漁獲量(kg)	前年同期値				
	本年値	: : : :	: : : :	: : : :	: : : :

特記事項

--

この欄は、農林水産省の職員が記入します。	調査員名	
	調査員の担当区域	
	局・農政事務所名	
	センター名	
	担当者名	
	連絡先	



入力方向

別記様式第5号

記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

秘
農林水産省

□ □ □ □

指定統計第54号
海面漁業生産統計

この調査は、農林水産省が今後の水産行政を遂行していくための基礎的な資料を作成するために行うものです。なお、この調査票に記入した調査事項は、統計以外の目的には使用しません。

海面漁業生産統計調査
海面養殖業収獲統計調査
海面養殖業収獲統計調査票（一括調査用）

調査年	調査期間	大海区	都府県支庁	市町村
: : : :	: :			

養殖品種	養殖方法名

項目		前年同期値				本年値			
総施設面積 (㎡)									
1施設当たり平均面積 (㎡)									
1施設当たり平均収獲量	単位								

特記事項

Large empty box for special notes.

この欄は、農林水産省の職員が記入します。	調査員名	
	調査員の担当区域	
	局・農政事務所名	
	センター名	
	担当者名	
	連絡先	

総務省承認 No. 27472
承認期限 平成21年3月31日まで内水面漁業生産統計調査
内水面漁業漁獲統計調査

内水面漁業漁獲統計調査票

この調査は、農林水産省が今後の水産行政を遂行していくための基礎的な資料を作成するために行うものです。
なお、この調査票は、統計以外の目的には使用しませんので、ありのままをご記入ください。
記入には黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。

記入見本

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

(この欄は統計・情報センターで記入します。)

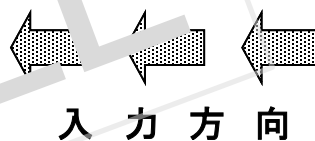
調査年	農政局・ 農政事務所	支庁	センター	市町村	河川・湖沼	整理番号

2021

1 魚種別漁獲量

昨年1年間に河川・湖沼において、漁業経営体が漁獲した魚種別の漁獲量を記入してください。

区分	漁獲量 (kg)	
魚類	さけ類	
	からふとます	
	さくらま	
	その他のさけ・ます類	
	わか	
	あゆ	
	しらうお	
	こい	
	ふな	
	うぐい・おいか	
	うなぎ	
	はぜ類	
その他の魚類		
貝類	しじみ	
	その他の貝類	
その他の 水産動植物類	えび類	
	その他	



備考欄

主な魚種の増減理由について該当する番号に丸印をし（複数選択可）、その具体的な内容について記入してください。

(増減理由)

- 1 気象の影響
- 2 病気の発生
- 3 河川湖沼環境の変化
- 4 食害
- 5 需要の動向
- 6 その他

(具体的な内容)

2 天然産種苗採捕量

上記のあゆ及びうなぎの漁獲量のうち、種苗として採捕した数量を記入してください。

項目	採捕量 (kg)	
天然産 種苗採捕量	あゆ	
	うなぎ	

(この欄は統計・情報センターで記入します。)

農政局・農政事務所名	
センター名	
担当者名	

総務省承認 No. 27473
承認期限 平成21年3月31日まで内水面漁業生産統計調査
内水面養殖業収獲統計調査

内水面養殖業収獲統計調査票

この調査は、農林水産省が今後の水産行政を遂行していくための基礎的な資料を作成するために行うものです。
なお、この調査票は、統計以外の目的には使用しませんので、ありのままをご記入ください。
記入には黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。

記入見本

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

(この欄は統計・情報センターで記入します。)

調査年	農政局・農政事務所	支庁	センター	市町村	整理番号



入力方向

1 魚種別収獲量(食用)

昨年1年間に食用を目的として養殖を行い、獲れた魚類、およびこれら及びうなぎについて、魚種別の収獲量を記入してください。

項目		収獲量 (kg)											
魚類	ます類	にじま	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
		その他のます類	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
	あゆ	こい	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
		な	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
		ぎ	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:

2031

2 魚種別種苗販売量

昨年1年間に採取した卵及び養殖した稚魚のうち、販売した数量を記入してください。

項目		単位	販売量										
卵	ます類	1,000粒	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
	ます類	1,000尾	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
稚魚	あゆ		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
	こい		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:

注:種苗販売量は、収獲量には含みません。

備考欄

主な魚種の増減理由について該当する番号に丸印をし(複数選択可)、その具体的な内容について記入してください。
(増減理由)

1 気象の影響, 2 病気の発生, 3 養殖場環境の変化, 4 食害, 5 需要の動向, 6 その他
(具体的な内容)

(この欄は統計・情報センターで記入します。)

農政局・農政事務所名	
センター名	
担当者名	

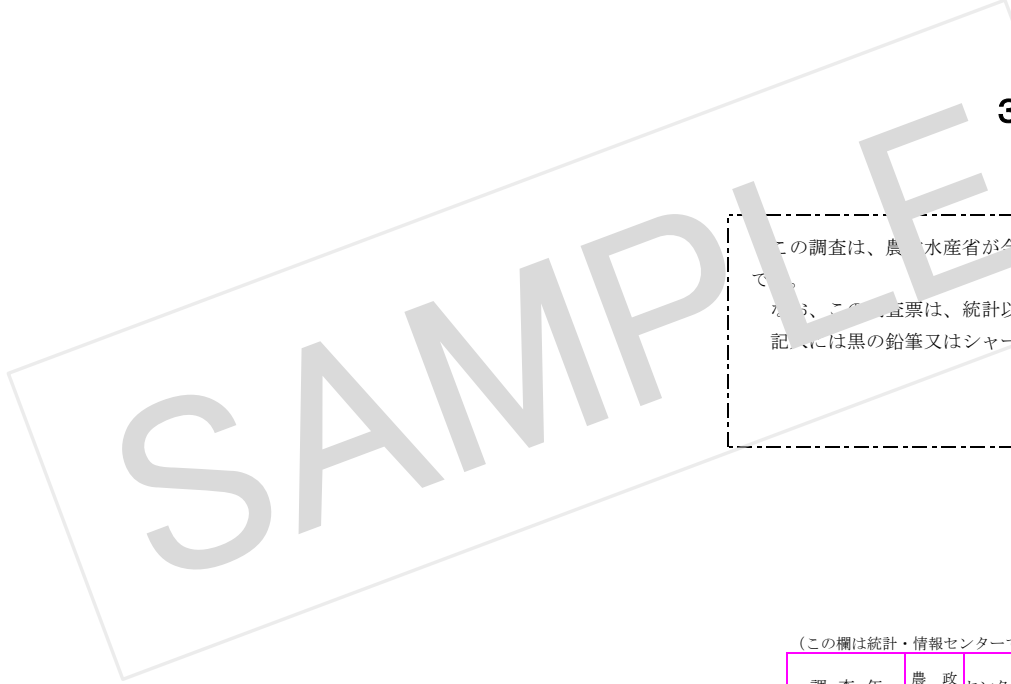
総務省承認 No. 27474
承認期限 平成21年3月31日まで



内水面漁業生産統計調査

3湖沼漁業生産統計調査

3湖沼漁業生産統計調査票



この調査は、農林水産省が今後の水産行政を遂行していくための基礎的な資料を作成するために行うもので、

なお、この調査票は、統計以外の目的には使用しませんので、ありのままをご記入ください。

記入には黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。

記入見本									
0	t	2	3	4	5	6	7	8	9

(この欄は統計・情報センターで記入します。)

調査年	農政事務所	センター	市町村	整理番号	農政局・農政事務所名	
					センター名	
					担当者名	



1 漁業種類別魚種別漁獲量、天然産種苗採捕量

昨年1年間に漁獲した漁獲量を漁業種類別・魚種別に記入してください。なお、こあゆ及びびうなぎの漁獲量については、天然産種苗のあゆ、うなぎの採捕量とは別に記入してください。

(行番号)	区分	漁業種類			
		コード			
1	合計				
2	魚種別漁獲量				
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21		天然産種苗			
22	あゆ				
	うなぎ				

1 漁業種類別魚種別漁獲量、天然産種苗採捕量 (つづき)

(行番号)	漁業種類 (つづき)			
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

2 養殖魚種別収穫量

昨年1年間に養殖を行い収穫した収穫量を魚種別に記入してください。

項目		収穫量 (kg)			
さけ・ます類	にじます				
	その他のさけ・ます類				
あゆ					
こい					
うなぎ					
真珠					
その他					

3 魚種別種苗販売量

昨年1年間に採取した卵及び養殖した稚魚等のうち、販売した数量を記入してください。

項目		単位	販売量			
卵	ます類	1,000粒				
	ます類					
稚魚	あゆ	1,000尾				
	こい					
その他の種苗		kg				

備考欄 (漁獲量や収穫量の増減理由等を記入してください。)

主な魚種の増減理由について該当する番号に丸印をし (複数選択可)、その具体的な内容について記入してください。

(増減理由)

- 1 気象の影響, 2 病気の発生, 3 湖沼環境の変化, 4 食害, 5 需要の動向,
- 6 その他

(具体的な内容)